

平成 28 年度 第 1 回たつの市まち未来創生戦略推進委員会 協議録

委員	資料 3 の 1 ページに市内従業者数と市内総生産額が上っていますが、この額はどのような統計を基にしていますか？
事務局	市内従業者数については、本市法人市民税の申告に基づく従業員数を合計したものです。 経済センサスによる従業者数が最も適当ですが、本調査が 5 年に 1 回で、検証するタイミングで数字がつかめず、近い傾向が出るものとしてこの数値を採りました。 市内総生産額については、県統計課で毎年数字を公表しています。市町単位に出ていますので、それを指標としたいと思っています。
委員	これは工業統計の数字ですか？
委員長	工業だけではなく、サービス業も含め全般です。
事務局	これは全産業です。一次、二次、三次すべてについてです。
委員長	工業統計や商業統計は、全産業を公開していません。結果的には事務局が今、説明した形しか調べようがないと思います。
委員	製造品出荷額とか付加価値額というのは工業統計で出ています。その数字ではだめですか？
委員長	工業だけでなく、全産業を集約した数を上げるようになっていきます。 総務省が出している事業所統計調査報告がありますが、これもたつの市ということになると多分そこまでの数字が出ていないと思います。おそらく、この形しか把握しようがないと思います。 例えば、製造業だけをピックアップする、卸売業、小売業だけをピックアップするのであればそれは可能だと思いますが、全産業を元に上げるものとなりますので。
委員	資料 2 の参考資料の 2 ページ、「ようきたったなあたつの事業」と「たつの観光プロモーション事業」のそれぞれ 6 2 0 万円、8 5 0 万円と費用が出ていますが、費用対効果を試算されたことがありますか。いろんな事業がある中で、この事業は、来年度は大きくして、この事業は効果がなかったから少なくしようという費用対効果を試算したことがあるのかをお聞きしたいのです。
事務局	費用対効果については、検証していますが、「ようきたったなあたつの事業」については、たつの市のことを知っていただくということですので、250 人の参加者数で算出していいのか検討が必要です。 「観光プロモーション事業」については、事業費 850 万で体験 2,100 人ということで、検証しています。今おっしゃったように結果を踏まえて、29 年度以降に事業の見直しを行います。
委員	「たつの愛会事業」で、カップル成立数 1 1 組のうち何組が結婚されておるか把握されていますか？
事務局	成功に至ったのはどれだけあるかというのは把握が困難です。委託業者に確認していますが、個人的な部分がありますので、正確に把握できない実状です。
委員	最近、でしゃばりがひと段落していて、役所がでしゃばりの役割をしないといけない状態です。成立したのが 11 組ですから、11 組が結婚しようという気持ちがあったから成立したと思います。 だから、もう一步、成立した後に、男の方からか女の方からか電話をかけるとかメールをするとか、その後のフォローとして背中を押してあげるようなことをする必要があると思います。
委員長	カップル成立数というのはどういう意味ですか？ 自分たちがカップルになったという届け出があった人がいるのですか？
事務局	イベントを実施した最後に、この人が気に入りましたというようなアンケートを書くわけです。
委員長	その場でカップル成立となるわけですが、その後、全然会っていない人もいるかもしれないですね？
事務局	若干のフォローはしていますが、なかなか難しいです。

委員長	任意ですが、結婚に至った場合は必ず御連絡くださいとか、どこかに書いておけばいいのですが、なかなか難しいと思います。
市長	それは大事だと思います。カップルが誕生し、実際に市役所に婚姻届を出された方がおられました。その方が第1号だったので、新聞に取り上げようと思い話をしましたが、遠慮したいということになりました。そういう方もおられますので、中々把握は難しいと思います。
委員長	どこかの行政で、婚姻されたら新居の補助を出すなどしていますが、そういうことをしたら、必ず言ってくると思います。
ふるさと創生部長	今のところカップルが誕生し婚姻届を出されたら、市から新たな支援という制度は考えてはいません。
委員長	支援じゃなくて例えば、僅かでも祝金とか、何かそういうのがあってもいいかもしれません。
ふるさと創生部長	KPIの見直しを考えており、施策9の結婚支援は、婚活イベントでのカップル成立数を目標にしていますが、数値の把握が確実にできるということで婚姻届受理件数に変更しようと考えています。昨年、婦人会で婚活イベントをしていただきました。最後にカップル誕生として、その場で報告するということですが、追跡調査がなかなか難しい現状でございます。
市長	実際に付き合います！と手を挙げる方式でその会の最後にカップル誕生するのですね。
委員	最後にあの人と付き合いたいという様に紙に書いてもらいます。
市長	イベントが終わった後に、帰る玄関のところで待っている人がいますが、内々に約束して公表しないで、ちょっとお茶を飲みに行きませんか？というようなことがあるようです。ですから11組よりは多い可能性があります。
委員	主催者としては、結果を知りたいので、何か考えていきたいと思っています。
委員長	即答は結構ですが、大事なことです、御検討ください。
委員	先ほど言いましたように、カップルが出来た後のフォローとして、一歩背中を押せるようにできればと思いますので、よろしくお願いします。
委員	子どもが増えないという話ですが、一般的に核家族の方より、同居家族の方が、子どもが多いと思います。子育てを支えてくれるおじいちゃん、おばあちゃんが近くに住んでいるというのは大きな要因になると思います。 市内にたくさんいろんな企業があるにも関わらず、実際は、市外の企業に就職される方が多いので、もっと市内企業への市内在住者の就業率を上げないといけないと思います。いろんな就活を支援はしていますが、企業が市内の人を雇う意欲が出るような支援をしていかなければいけないと思います。 高卒者の支援はありますが、実際は企業が欲しいのは大卒者かもしれないし、市内出身大卒者が受け入れやすくなるような支援が必要です。 初任給などを学生は参考にすると思いますが、初任給や賃金などを上げ、市民税に係る部分だけは補助するというのも必要になってきます。 ツアーですが、たつの市は資源が豊富でイベントも多いが、広いところで分散しているので、もっと繋ぐ仕組みを持たないといけないと思います。 ツアーが年2回ですが、春夏秋冬いつも行事をやっているというのが特徴だと思うので、1シーズンでなく、旅行社が年間計画の中に入れるぐらいの宣伝ができればいいと思います。 カップルの話ですが、カップルが結婚したら、結婚式場の幹旋とか住むところ住居の世話などを、全部繋ぐようにできないのかと思います。 ふるさと納税ですが、この前、島根県浜田市に行ったのですが、話題になっているのが「のどぐろ」

	と、友好都市である三重県松阪市の松坂牛をセットにし返戻品で出しているものです。 新聞などで話題になり有名になっていますが、納税額からすると微々たるもので、数も 15 か 20 の限定です。でも、納税額は 20 億もあります。20 億のうち 5 割は返戻品で 10 億分の支出があるわけですが、10 億はプラスになっており、それでも良いのではないかと思います。これは、1 部署だけじゃなく、また、具体的な取り組みが必要だと思います。
委員長	今おっしゃるように基本的に地産地消で作ったものを全国に広めればひとつの広報戦略にもなりますし、税収もアップし有効だと思うので御検討ください。 いろいろと大事なことをおっしゃいましたが、市内に食べていただく施設はあると思いますが、宿泊施設はありますか？
市長	国民宿舎のほかにはいくつか旅館はあります。
委員長	私がよく行く境港は、あれだけゲゲゲの鬼太郎といっていますが、宿泊施設があまりなかったのです。全部、米子の皆生温泉などに取られていたのですが、やっと駅前に 1000 室のホテルが建設されました。やはり地元にお金を落としてもらえるような仕組みを作らないといけないと思います。
委員	昨年、事務局の力を借りて、婚活イベントをしましたが、婚活事業はこれからも続けていかないといいなと思っています。
委員長	あらゆる行政が、積極的にやっています。やらないと少子化の歯止めもかからないし、重要だと思いますので、よろしくお願いします。
委員	老人クラブの代表をしています。役員会の中で出た話として、JR 新快速が網干駅に止まることもあり、太子町へ出て行く人がたくさんいるということでした。 姫新線の落語列車にりましたが、非常によかったなと思いました。上月駅では、子どもや婦人会の方が甲冑を着て出迎えてくれました。 前市長が、ジャイアントタイヤとナガセ産業周辺のことを、「たつの市はあそこが生命線だ」とよく言っていました。今、やはり働く人も減ったのですか？
事務局	ジャイアントタイヤは工場を拡張されたりしていますので、縮小はないと思います。
ふるさと創生部長	市街化区域の拡張をし、工場の立地条件を良くする支援はしていますので、従業員が減っているということはないと思います。
委員	公共交通会議の委員をしています。新宮町でデマンド交通を 3 か月の試用期間で行いますが、公共交通に対する市民の意識が一番重要で、短い期間で結論が出るのかなと思い心配しています。
委員	4 つの基本目標のうち、若者未来が特に重要だと思います。 日本の人口は、減少に転じており、3 大都市以外のところはほとんど人口が減少しています。 3 大都市といっても大阪は、中心は別として減っています。そういった中で、安心して子どもを産め、子育てが出来る環境を整備するというのが大事だと思います。 基本目標 3 の若者未来で、予算が上がっていますが、日本全体で人口が減っているのに同じことをやっても人が集まるということはないです。だからこそ焦点決め、予算をもっと増やし、みんなが驚くようなものがないと、どんぐりの背比べではなかなか人が戻ってこないと思います。
委員	創業支援事業について、たつの市の助成は手厚くて相談件数が多く、順番待ちになっていると思います。K P I が 31 年までに 20 件となっていますが、予算は来年以降も付きますか？
事務局	財政的なものがあるので回答は難しいですが、創生戦略の担当として財政当局に説明したいと思います。
市長	相談はどれぐらいの予測ですか？

委員	今も何件かあります。商工振興課で聞いていると思いますが、ある程度まとまった場合は補正予算となると思うのですが、来年以降はどうなるのかと思ひまして。
市長	本当に働き方が大事であり、若い人たちが定住してくれると思うので、是非考えたいと思ひます。
委員	何年も前から創業塾をやっており、昨年も 12 名が受講され 6 名が創業されました。うち 5 名がたつの市内で創業され、その中の 1 名が市の助成制度を利用されました。 昨年、この制度ができ、創業を勧める上において一安心だと思ひます。創業された方も開業にこぎつけるのに後押しになったということです。 たつのは、素晴らしい企業があるのですが、高校生に企業を知ってもらいたいということで、一昨年夏休みに勉強してもらい授業をやりましたが、もうひとつ高校生に受け入れられませんでした。やり方が悪かったのではないかとということで、昨年、今年はやっていないのですが、そういうことも必要ではないかと思ひています。
委員	商工会の立場として申し上げますが、創業支援や立地企業の助成があるのですが、新しく企業を誘致するよりも、既存の企業が規模を拡大したいと思ひ工場用地を確保したいときに、一番の問題は、土地の規制です。周辺は田んぼが多くすべて調整区域で、規制があり簡単にはいきません。 都市計画法上、調整区域の工場を拡張することは、以前は無理でしたが、今は隣接すれば良いと規制緩和されています。ですが、簡単にいかないもので、既存の事業所を支援するように戦略を立てていただきたいと思ひます。 観光協会の立場で申しますと、新しい観光資源を発掘してたくさんの方々に来ていただくということですが、今まであった観光がなくなっているものがあります。 一つ例を挙げますと、新宮には志んぐ荘の前に屋形舟がありました。今はなくなっていますが、新しいものをつくるよりも、こういうものを復活させることもいいのではないかとと思ひます。
委員長	尼崎でプラズマテレビの工場を誘致した失敗例に象徴されるように、大企業を誘致して成功していることはありません。だから、地元の企業に出て行ってもらわないこと、地元の企業が工場規模を拡大するというのがものすごい大きなポイントになります。どこから大企業を連れてきても雇用は増えません。ほとんど、派遣です。やはり、地元の企業が成長しないと地域は成長しないのです。 もう一点は観光ですが、誘致したとして、ディズニーランドが来たら別ですが、一過性のものです。「あるもの探し、ないものねだり」と言いますが、あるものをどう観光資源にしていけるかが重要なことで、鉄則みたいなことをおっしゃっていただきました。
委員	日本全体が少子高齢化社会で、子どもを産めと言っていますが、待機児童問題の解決が必要となっています。それぞれの地域に 20 代後半から 40 代前半の独身者がおられますが、この方たちにどのようにして結婚してもらい、1 人でも 2 人でも子供を産んでもらうようにするかが一番大事です。
委員	西播磨地域を所管する県民局として、西播磨地区の中核の自治体ですので、たつの市の創生は、是が非でも成功していただきたいと思ひています。 基本目標 3 の実績値として合計特殊出生率が 1.37%でした。目標値の 1.57%から 1.37%まで下がっています。合計特殊出生率が 2.07%ないと人口維持水準に至らず、人口が減るということです。 人口増対策はこれをしたらということではなく、非常に困難なことは分かっています。婚活事業で成功している例の紹介がありましたが、県も出逢い、結婚、そして子どもを作ってもらうという対策をいろいろと考えています。総力を挙げて自然増施策を講じないといけないと思ひます。 国勢調査ですと右肩上がりで来ていたのが近くの太子町ですが、利便性や鉄道の問題など施策一つではなく、まちづくり全体の総力であり、大型店舗が幹線道路沿いに集積してくることによって若者

	たちにはとっては魅力あるまち、快適なまちになっているのかも知れません。 もう一点、人口対策として、社会増減の転入・転出があります。 先ほど紹介がありましたが、資料 1 参考資料の 2 ページに、年齢層別社会増減の状況、地区別という分析ですが、年齢層別の増減状況の分析が年少人口の 14 歳までと生産年齢人口の 15 歳から 64 歳までとそれ以上の高齢者の区分があり、生産年齢人口のところで落ちています。施策を講じようと思うと、もう少し分析がいるのではないのでしょうか。例えば、10 代から 20 歳までのところが減っているとする、大学進学地に転出しているということが想定できるし、20 代であると就職かもしれないし、30 代ならどうだろうか、高齢者ではどうかと。 次の施策に結びつけるためにももう少し突っ込んだ分析が必要ではないかなと感じました。 何かという決め手を提案することはできませんが、戦略を成功に導いてもらうように協力できればと思っています。
委員長	人口減少の詳細な分析はいると思います。 大学進学で出て行ってしまうことは仕方ないですが、就職時に戻ってきてもらう、あるいは、Uターン、J ターンをどう推進するのか、地域創生には大きな力になりますので、その辺りをもう少し分析が必要だと思います。
事務局	お配りしてある資料にはないですが、20 代については、社会減は緩和しています。
委員	KPI の見直しで、創業・起業者数を市内従業者数に変えられ、施策 1 を市内総生産額に変えるということですが、施策 1 の起業支援でやることは、28 年度は変わらないということですか？ KPI だけの変えるということですか？
事務局	28 年度の施策については、事業名に上がっている事業をやるということです。
委員	新しい KPI の方が施策に対する結果がよく分かるという話でよろしいでしょうか？
事務局	効果を分析するには、変更後の市内総生産額の方が適当であろうということで、見直しさせていただきたいということです。
委員	「ようきたったなあたつの事業」は 250 人が参加し、アンケート結果で移住希望者がほんのわずかであったという結果は載っているのですが、理由はありますか？ あればそれを基に、今年度は見直すのでしょうか、どうしてわずかだったかの理由を知りたいと思います。
委員長	応募される時から、できれば定住を考えてくださいとしているのでしょうか？
事務局	目的を定住として募集したわけではありません。
委員長	たつのを知ってくださいということで募集したのでしたら、おそらく定住してくださいという話になると、それは話が違うということになると思います。
ふるさと創生部長	趣旨をしっかりと参加者に伝え、定住を考えてくださいという形で実施すれば良かったと思いますが、まずはたつのへ来てください、こんな観光名所、おいしいものがありますよと募集したものですので、参加者の意識と違ったのかなと思います。
委員長	あくまでも社会増でもいいわけですから、定住だけじゃなく、観光客の方にたくさん来ていただいて、地元にお金を落としていただくという趣旨でももちろんいいわけです。
委員	先日、たつのに移住してきたイギリスの方とお会いしたのですが、すごくたつのの魅力を知っておられました。イギリスの日本大使館を辞めてまでたつのへ来たということですので、たつの市にすごく魅力があるのだと思います。このような移住促進をやれば結果が付いてくると思います。
委員	たつの市に創業支援、第二創業に関する融資制度がなく、以前、意見を求められた時に制度融資を作

	っていただきたいと言いました。県は制度融資があるのですが、県だけでは難しいと思います。姫路市には制度融資がありますので、たつの市にも作っていただきたいと思います。 もう一点、奨学金についてですが、例えば金融機関と合同で大学へ進学する奨学金を提供し、卒業後、たつの市に就職されたり、住まわれたりした場合は、市が全額を金融機関に払うという形式をとっているところがあります。 返済しなくてもいい奨学金もつくりたいと国が動いていますが、生まれて大学まで行くお子さんが2人、3人、4人なってくるとかなりの負担になりますのでその辺を考慮していただけたらと思います。
委員長	奨学金を行政が肩代わりし、Uターン、Jターンを進めるとするのは、メジャーになってきていますので、ぜひ、お考えいただきたいと思います。
委員	雇用創生について、働く者とその家族が安心して働ける社会としていただきたいと思います。 「ようきたったなあたつの事業」は250名が参加し、移住希望がわずかという結果でしたが、チェックが重要で、なぜなのかを分析し、フィードバックしアクションにつなげていただきたいと思います。
委員	雇用創生の基本目標1のKPIの市内従業者数の変更について、新しい人を外から雇うことは難しいので、市内にお住いの方が市内で働けるようにすることが必要だと思います。1番は市内の企業に働きやすい環境を作っていただき、働きやすい会社ですとアピールをしていただくことが、市内の意欲のある方に働いてもらえるいい手段ではないかと思います。
委員	KPIのうち達成できそうなのは、姫新線の300万人と空き家の有効活用ぐらいしかないのではないかと思います。1番大事なものは、人口を増やす、人口を減らさないということです。それには、それぞれの土地で核となるものを考えてもらわないと無理だと思います。 雇用創生は、市内にとありますが、姫路に働きに行ってきたつのに住んでもらった方がいいのです。そういう風に考えると、観光についても、まずはたつのへ来ようと人はおそらくいないでしょう。姫路城にきた人を引き寄せることが大事で、他の市町も同じことを考えています。たつのだけで考えているのではなく、8市8町の枠組みで考えないと成り立たないと思います。 以前も言いましたが、産婦人科が1件もないです。若い夫婦が来て、産婦人科がなかったら姫路に行ってしまう。それをカバーする体制を考えるという意識を持つことが大切だと思います。 今日も姫路から来るときに事故があって、バイパスを途中で降りたのですが、できれば時間が正確な姫新線で来たいです。本竜野からここまで歩いてどれぐらいかかるのですか？
事務局	12、3分ぐらいです。
委員	観光もそうですが、自転車の活用を考えてもらいたいです。 それと、宣伝するに1番手取り早いのは、映画やドラマでたつののことは出してもらおうことですが、フィルムコミッションはありますか？なかったら、ぜひ作っていただきたいです。 姫路はありますので、姫路と一緒にやってもらえたらと思います。
委員長	たつのがロケ地になってもらうことがいいと思いますね。
委員	たつのは撮影する場所がいっぱいあると思います。今、相撲が人気ですので、野見宿祢を売り出してもらいたいです。
委員	一番やっていただきたいのは、出生率を向上で、不妊治療、各種手当、産休とかありますが、「子どもを産んで育てるのがあったらたつので！」みたいなまちにして欲しいです。 本当は、分捕り合戦みたいな事業を行って、人口を増やすのが早いのですが、子どもの数を増やすことを1番に考えていただいた方が賑やかな活気ある町になると思います。 戦略は行政や我々委員の意見を反映しているのですが、この施策全部がそれぞれの市民や企業に刺

	さるかどうかは行政目線じゃなくて、関係する人の意見としてアンケートなどがあった方がいいのではないですか。
事務局	アンケートについては、昨年、創生戦略を作る時に実施していますが、今回、K P I の見直しにおいてもアンケートによって測る指標を入れていきますので、今年度も実施したいと考えています。
副委員長	みなさんからいろんな意見があり、提案していただきました。早金局長が「西播磨の中心であるたつの市」と言われましたが、他の市のとか町とかは行かれたことがありますか？
委員	委員にはなってないですが、前職が県地方創生部局ということで、情報としていくつか知っています。
副委員長	たつの市は進んでいますか？
委員長	去年、県の地方創生もやり、他に全国で5か所ぐらいの委員をしています、たつの市は本当に頑張っていると思います。
副委員長	非常に難しい問題、簡単には解決できない問題を解決できたら日本中のお手本になるのではないかなと思いますし、お手本になるように皆さんの協力・応援をいただいて進めていきたいと思っています。
市長	大変貴重なご意見で、すぐにでも採用したいというものがあり、非常に参考になりました。 ただ、地方はあらゆる面で空洞化し、コミュニティも空洞化しています。原因は何かというと、これは学者の話ですが、要するに自分が住んでいるところ、自分が生まれたところに対しての愛着と誇りが薄まってきているのです。すなわち誇りの空洞化です。これが再生されない限り、つまり、たつのに住んでいる人に誇りが無いのに、「たつのに住んで欲しい」ということは自信を持って言えません。まずは、「誇りの再生」というのが重要だと思います。どうやったらその誇りは再生するの？ということですが、これは今、みなさんにやっていただいている地域磨き、そのものだと思います。輝いたところには、人が感動してくれます。そして、それに直接携わった人も当然輝き始めますし、見ている方も「たつのってすごく変わってきたじゃないの？」と思っていただけます。そして、究極は「選ばれる町、たつの」です。誇りがみなぎっているからこそ、いろんな人から選ばれる。そういうまちづくりをやっていくということが、我々の責務だと思います。 もう1つ、田園回帰ということが今、都会で重みを増してきています。若い人や定年退職した方もどこか田園を求めて暮らしたいなというふうに思っている人が結構大都会にいます。
委員長	ロンドンやパリはそうです。だから、イギリス人が平気でロンドンの町から2、3時間のところに住んでいます。感覚的によく分からないのですが、ロンドンの人はそういうのが平気なのでしょう。日本はなぜか近いところに住むから、都市部に人口が集中するのでしょうか。
市長	回帰の心を持っている人が選んでくれ、その受け皿にしっかりとることがたつのの役目だと思いますので、これからもいいお知恵をたくさんいただいて選ばれるまち「たつの」、そして快適さを実感できるまちづくりを目指していきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。